

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2010年1月

第20回 ISO/TC 138 国際会議

第20回 ISO/TC 138 の国際会議は、9月29日～10月2日にフィンランドのツルクで開催された。日本からは、TC 138 小林議長以下14名が参加して、規格に日本の意見を反映させ、また、各国の代表との親密な人間関係を築くため活動した。

本稿では、第20回 TC 138 国際会議の概要とトピックスを報告する。

1. 会議の概要

(1) 参加者

今回の TC 138 国際会議には、20ヶ国から88名が参加した。参加者は、日本(14名)が最も多く、次いで、ドイツ(10名)、英国(8名)の順であった。

(2) 会議

各会議の日程を以下に示す。

9/29: SC1/WG6, SC1, SC4/AHG1, SC5/WG17, SC5/WG20, SC6/WG1

9/30: SC2, SC4, SC6/WG3, WG12/TG4, 歓迎会

10/1: SC3, SC4/WG7, SC5, SC6/WG4, SC6, SC7, WG12/TG3, WG12, AG 会議

10/2: Plenary 会議

2. トピックス

(1) SC1 (排水、汚水用プラスチック管と継手)

WG4 では、議論の結果、DIS 13272 (交通量が多い所のマンホールと検査室の仕様) が FDIS に進むことを承認した。

EN 試験方法を ISO の試験方法に変換する WG6 の13案件は、DIS 投票で、4案件は FDIS に進み、反対票とコメントが無かった残りの9案件は、ISO の発行に進むことを承認した。

(2) SC5C2 (給水用プラスチック管, 継手)

WG6 は CD 29561-1 と-2 (給水用 GF 強化 PE 管システム--第1部:通則、第2部:管) は期限切れのため廃止となったが、再度、NWIP と CD 投票を平行して進めることで合意した。

(3) SC3 (工業用プラスチック管, 継手)

ISO 15494 (PB,PE,PP-継手とシステムの仕様-メートル系) を改正するため、WG の立ち上げを決めた。一方、ISO 15493 (BS,PVC-U,PVC-C-継手とシステムの仕様-メートル系) 改正の必要性の有無は、ISO 15494 を改正する過程で判断する。

(4) SC4 (ガス供給用プラスチック管, 継手)

ISO 21307 は融着条件と文章に不備があるため追補の作成と改正を進めることを決めた。PA の RCP は FS 試験と S4 試験の相関係数が PE と大きく違うという昨年来の課題が未解決であるため、この状況を顧客に知らせると共に、ISO 22621-1 と -2 (2MPa まで使用できるガス供給管-第 1 部: 通則、第 2 部: 管) の改正を決めた。

(5) SC5 (試験方法と基本規格)

WG5 は WD 10147 (架橋 PE 管-ゲル化率の測定) 及び EN 527 の改正を同時に行うことを決めた。

WG19 は、SC4 からの要請を受けて、耐 RCP を FS 試験と S4 試験で評価する RRT が進行中。

二つの AHG をまとめて WG21 (Ring stiffness and Ring flexibility) の立ち上げを決めた。

試験コストの削減と効率化のため、内水圧試験条件を 20℃水/水から 23℃空気/水に変更する案を NWIP として SC5 内に回付することを決めた。

(6) SC6 (強化プラスチック管, 継手)

ISO 8513 (管軸方向の引張特性の求め方) と ISO 18672-2 (マンホールと検査室) の改正とガラス繊維強化熱硬化性管--非円形管を NWIP として承認した。

(7) SC7 (プラスチックバルブと補助器具)

6 種類のバルブに関する 6 つの ISO とバルブの試験方法に関する 2 つの ISO を定期見直しの結果、確認した。

(8) TC 138/WG12 (管更生)

FDIS 11296-1 と -3, -4, (排・下水管の更生、第 1 部: 通則、第 3 部: クロスフィット工法、第 4 部: CD 11299-1 と -3 (給水管の更生-第 1 部: 通則、第 3 部: クロスフィット工法) 及び NP 11296-7 (第 7 部: スパイラル工法) は全て投票で承認され、NP 11296-7 では添付の原案が DIS として回付可能となった。

NWIP として“圧力用の排・下水管の更生“に P メンバーが関心を示すのか今後調査する。

(9) Plenary (年次会議)

規格を実質的に議論する WG 会議には全メンバーが容易に参加できるようにまとめて開催し、その日程表は事務局が作成して周知することを決めた。また、EN 試験方法の ISO への変換を積極的に進めてはとの提案があった。2010 年の国際会議は、10 月 19 日～10 月 22 日に上海 (中国) で開催することになった。

以上